

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年12月27日(2018.12.27)

【公開番号】特開2017-93787(P2017-93787A)

【公開日】平成29年6月1日(2017.6.1)

【年通号数】公開・登録公報2017-020

【出願番号】特願2015-228636(P2015-228636)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月9日(2018.11.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定信号に起因する抽選処理を実行して、その抽選結果に対応する画像演出並びに種々の図柄の変動を表示手段に表示させる遊技機であって、

遊技の進行に応じて所定の音を出力させる音出力手段と、

遊技の進行に応じて所定のランプ演出を実行するランプ演出実行手段と、

前記表示手段に表示される前記抽選結果が特別遊技状態となるものであるか否かのリーチ演出内容が前記図柄の変動開始から変動停止までの1回の変動内で実行される画像演出である第1演出パターンを含む複数の演出パターンからなる演出表示態様を記憶する演出表示態様記憶手段と、を有し、

前記抽選結果が特別遊技状態でない場合の前記第1演出パターンにおいて、前記音出力手段又は前記ランプ演出実行手段のうち少なくとも一方は、前記表示手段に前記リーチ演出内容が表示された後、前記抽選結果が特別遊技状態である場合の前記第1演出パターンよりも少ない音量又は光量で実行してなる遊技機。

【請求項2】

前記抽選結果が特別遊技状態でない場合の前記第1演出パターンにおいて、前記音出力手段又は前記ランプ演出実行手段のうち少なくとも一方は、前記表示手段に前記リーチ演出内容が表示された後、前記音を出力させないか、又は、前記所定のランプ演出を実行しない請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

所定信号に起因する抽選処理を実行して、その抽選結果に対応する画像演出並びに種々の図柄の変動を表示手段に表示させる遊技機であって、

遊技の進行に応じて所定のランプ演出を実行するランプ演出実行手段と、

前記表示手段に表示される前記抽選結果が特別遊技状態となるものであるか否かのリーチ演出内容が前記図柄の変動開始から変動停止までの1回の変動内で実行される画像演出である第1演出パターンを含む複数の演出パターンからなる演出表示態様を記憶する演出表示態様記憶手段と、を有し、

前記抽選結果が特別遊技状態でない場合の前記第1演出パターンにおいて、前記ランプ演出実行手段は、前記表示手段に前記リーチ演出内容が表示された後、前記所定のランプ

演出を実行するにあたってランプを寒色系の色で発光させてなる遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項1の発明に係る遊技機によれば、所定信号に起因する抽選処理を実行して、その抽選結果に対応する画像演出並びに種々の図柄の変動を表示手段(図2に示す液晶表示装置41参照)に表示させる遊技機であって、

遊技の進行に応じて所定の音を出力させる音出力手段(図1に示すスピーカ16参照)と、

遊技の進行に応じて所定のランプ演出を実行するランプ演出実行手段(図15に示すステップS111,図17に示すステップS307参照)と、

前記表示手段(図2に示す液晶表示装置41参照)に表示される前記抽選結果が特別遊技状態となるものであるか否かのリーチ演出内容が前記図柄の変動開始から変動停止までの1回の変動内で実行される画像演出である第1演出パターンを含む複数の演出パターンからなる演出表示態様を記憶する演出表示態様記憶手段(図3に示す演出制御ROM910参照)と、を有し、

前記抽選結果が特別遊技状態でない場合の前記第1演出パターンにおいて、前記音出力手段(図1に示すスピーカ16参照)又は前記ランプ演出実行手段(図15に示すステップS111,図17に示すステップS307参照)のうち少なくとも一方は、前記表示手段(図2に示す液晶表示装置41参照)に前記リーチ演出内容が表示された後、前記抽選結果が特別遊技状態である場合の前記第1演出パターンよりも少ない音量又は光量で実行してなることを特徴としている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項2の発明に係る遊技機によれば、上記請求項1に記載の遊技機において、前記抽選結果が特別遊技状態でない場合の前記第1演出パターンにおいて、前記音出力手段(図1に示すスピーカ16参照)又は前記ランプ演出実行手段(図15に示すステップS111,図17に示すステップS307参照)のうち少なくとも一方は、前記表示手段(図2に示す液晶表示装置41参照)に前記リーチ演出内容が表示された後、前記音を出力させないか、又は、前記所定のランプ演出を実行しないことを特徴としている。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項3の発明に係る遊技機によれば、所定信号に起因する抽選処理を実行して、その抽選結果に対応する画像演出並びに種々の図柄の変動を表示手段(図2に示す液晶表示装置41参照)に表示させる遊技機であって、

遊技の進行に応じて所定のランプ演出を実行するランプ演出実行手段(図15に示すステップS111,図17に示すステップS307参照)と、

前記表示手段(図2に示す液晶表示装置41参照)に表示される前記抽選結果が特別遊技状態となるものであるか否かのリーチ演出内容が前記図柄の変動開始から変動停止まで

の1回の変動内で実行される画像演出である第1演出パターンを含む複数の演出パターンからなる演出表示態様を記憶する演出表示態様記憶手段（図3に示す演出制御ROM910参照）と、を有し、

前記抽選結果が特別遊技状態でない場合の前記第1演出パターンにおいて、前記ランプ演出実行手段（図15に示すステップS111、図17に示すステップS307参照）は、前記表示手段（図2に示す液晶表示装置41参照）に前記リーチ演出内容が表示された後、前記所定のランプ演出を実行するにあたってランプを寒色系の色で発光させてなることを特徴としている。